

「6月県議会」でも一般質問に登壇しました



小川知事

「6月県議会」は6月6日に開会し、19日間の会期を終え、24日に閉会しました。
今議会に提案された議案は24件。その内訳は、条例議案10件、専決処分したものについて承認を求める議案1件、工事請負契約等の締結に関する議案9件、その他の議案2件、人事に関する議案2件でした。いずれも県政の重要な施策であり、しっかりと審議し、可決しました。

1. 「若年者の開業支援」、「本県の均衡ある発展について」質問しました。

今回の一般質問の項目は、大きく2点でした。

(1) 若年者の開業(起業)・経営支援について

福岡県の創業率は4.42%、廃業率は3.30%で、全国平均より高い。また、25歳から34歳の若者の占める開業率は福岡市が全国一位。しかし、若年者が開業するにあたり公的支援機関に相談したというのは極めて少数。そこで中小企業施策をどのように経営者に周知し、支援を行っていくのか。

(2) 県内地域間問題の解消に向けた本県の取り組み

本県でも地方都市で人口減少が続いている。い

かに地方定住化を図り、均衡ある本県の発展と、魅力と活力ある郷土づくりを進めるのか。

- ① 県内合併自治体が合併10年を迎えるにあたり、合併の評価をいつ、どのように行うのか。
- ② 県はどのような尺度、指標で合併自治体の評価を行うべきと考えているのか。
- ③ 「平成の大合併」後の県内合併自治体の人口減少の状況をどう考えるか。
- ④ 定住化促進に向け、県内各地域から福岡都市圏への交通アクセスの向上をいかに進めるか。
- ⑤ 県が支援している甘木鉄道、平成筑豊鉄道、筑豊電気鉄道の現状、課題、改善すべき点を明らかにし、そして、県として今後の支援をどのように行うのか。
- ⑥ 本県の自治体において、『定住自立圏構想』の制度がどのように活用されているのか。また、中心市になるための要件を満たしていながら中心市となっていない県内4市について、県はどのように対応していくつもりか。(詳細はホームページにアップしています)

